

2	日	1年スキー実習(～4日) 完全下校 17:30
5	水	1年振替休業日
6	木	生徒会執行委員会 PTA 本部役員会
9	日	高専学力試験
10	月	県内私立高校入試 (3年給食なし)
11	火	建国記念の日
13	木	協同的探究学習研究会
17	月	公立高校推薦・特色・多部制検査 (3年給食なし)
18	火	トライやるウィーク推進委員会
19	水	学年末テスト、給食なし (～21日)
22	土	加古川教育フォーラム
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	2年オンライン英会話
26	水	50周年記念行事実行委員会
27	木	2年オンライン英会話 3年献血セミナー
28	金	3年卒業式練習スタート

7日	3年生を送る会(PM)
12日	公立高校学力検査
14日	第48回卒業証書授与式
19日	公立高校合格発表 給食終了
24日	修了式

※ 今回の紙面に掲載した以外の写真や、学校のできごとを、随時ホームページにUPしています。ぜひ御覧ください。

教訓を語り継ぐ ～阪神・淡路大震災から30年～



1月17日、避難訓練と「1.17集会」を行いました。今年は、阪神・淡路大震災から30年ということで、新聞・テレビ等マスコミでも例年以上に多くの特集が組まれていました。ご家庭でも、いずれかをご覧になり、話題にされましたでしょうか。

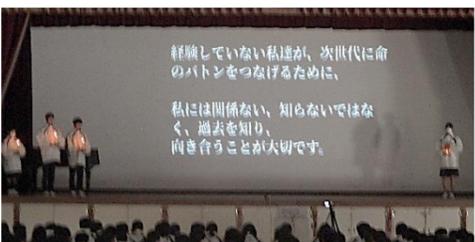
学校では、各学年で震災学習に取り組んだうえで、生徒会が中心となって「1.17集会」を実施しました。昨年1月1日の能登半島地震や今年1月の宮崎県を中心とする大きな地震が記憶に新しいところです。兵庫県に住む私たちだからこそ、この行事を形骸化することなく、この時の教訓を語り継いで、生命を守るために生かしていかなければならないと思います。

30年前の地震発生当時、私は神戸市灘区に住んでいました。住んでいた家は「半壊」でしたが、幸い無事でしたので、発生当日は一旦出勤した後、家が「全壊」して連絡が取れなくなった同僚の先生を捜索して回りました。7, 8時間かけて、ようやく避難所で見つけることができ無事を確認しました。翌日からしばらくの間は、家は危険なため勤務していた学校で寝泊まりをしながら、被害の大きかった他校の避難所運営支援や救援物資拠点の整理・運搬等を手伝いました。学校の休校も続きました。続く余震の恐怖と、電気・ガス・水道の途絶えた数か月間の不便さ、復旧した時の感激は今でも鮮明に覚えています。

今年の避難訓練は、大地震とそれによる火災を想定し、緊急地震速報を受けての対応から避難までの訓練を行いました。今年は、昨年度よりも55秒速い4分ちょうどで集合点呼が完了しました。講演では、「自分の命は自分で守る」意識と、登下校中の危険箇所を確認し実際に大地震が起こったときにどう行動するかをシミュレーションしておくことが大切だという話をしました。ぜひご家庭でも、防災用品の確認とともに、家族がどこへ避難しどこで落ち合うかなども話し合っておいてください。

「1.17集会」は、生徒会役員が運営する最初の行事でした。生徒会役員が神戸まで行って分灯してもらった「希望の灯り」分灯式、「氷丘中学校 1.17宣言」など、厳粛な雰囲気の中で追悼行事を行うことができました。決して風化させることなく繋いでいこうという気持ちを新たにしました。

また、貴重な体験手記を提出いただいた保護者の皆様に心から感謝申し上げます。



氷丘中学校 1.17宣言

阪神・淡路大震災から30年が経ちました。
 私達はこの震災から命の尊さ、震災の恐ろしさ、そして家族や友達、地域の人達と支え合って生きていくことの大切さを知りました。
 いつ起きるかわからない震災だからこそ、尊い命を失わないように、日頃から震災に備え、家族や友達、地域の人達と繋がり、支え合い、助け合い、協力します。
 経験していない私達が、次世代に命のバトンをつなげるために、私には関係ない、知らないではなく、過去を知り、向き合うことが大切です。
 私達は、明るい未来を、支え合う未来を、笑いあえる未来を、私達の手で創っていくことを誓います。
 阪神・淡路大震災で得られた教訓は、かけがえのない犠牲を払って得た、私たちの財産なのだから。
 令和7年1月 氷丘中学校生徒会一同

入学説明会・生徒会フレンドシップ

1月24日、午前は新入生保護者対象の説明会、午後からは入学予定の6年生が来校し、生徒会主催の「フレンドシップ」を行いました。

中学校に対する不安を減らし、希望をもって安心して入学してもらいたいという思いで、生徒会役員がスライドを使った学校紹介と「氷丘中〇×クイズ」を企画してくれました。きっと、4月から入学してくる後輩に思いが伝わったことと思います。その後、3年生の先生による授業体験と部活動見学を行いました。



第57回「おかねの作文」コンクール
 特選・日本PTA全国協議会会長賞 受賞
 学校賞 受賞

夏休みの選択課題となっていた「おかねの作文」コンクールで、2年生の池上由麻さんが、5312の応募作品のうち全国トップの特賞の1つである「日本PTA全国協議会会長賞」を受賞しました。それに伴い、「学校賞」もいただきました。

1月23日、兵庫県金融広報委員会 会長(日本銀行神戸支店長)をはじめ事務局等関係の方々がお来校され、校長室で表彰式を行っていただきました。神戸新聞、BAN-BAN ネットワークの方も取材にこられました。



当日の様子は、BAN-BAN テレビ(BAN-BAN チャンネル 11ch)の「news meets」で、1月31日から2月6日の間、10:00, 22:00(毎日)、18:00(月～金)に放送されます。

作文は「お金の価値」というタイトルで、金融経済教育推進機構「J-FLEC」公式ホームページに掲載されています。中学生らしい読みやすい文で、優しい気持ちが素直に表現された心温まる内容です。中学生はもちろん、ご家庭でも、ぜひ読んでいただけたらと思います
 右のQRコードから「J-FLEC」HPへ➡

